

豊坂っ子通信

令和2年度
豊坂小校長室だより
R2・5・28
No. 3
発行 本多 宣子

学校再開、 やっと令和2年度が動き始めました

5日25日(月)に幸田中学校区、26日(火)に南部中学校区、そして27日(水)に全員登校と49・50・51日ぶりに豊坂小学校に元気な豊坂っ子たちが戻ってきました。長い休校中、保護者の皆様をはじめご家庭、ご親族の皆様のご協力により、子どもたちが大きな怪我や病気をせずに再開当日を迎えることができ、心より感謝いたします。

また、休校中には文書や家庭学習の受け渡しにもご対応いただき、誠にありがとうございました。特に、先週の受け渡しの際にはお子さんと一緒にお越しいただけただけで、担任たちは今週をより楽しみに迎えることができました。

今週の通学班登校は、初めてにもかかわらず、子どもたちはきちんと並んで登校することができました。これは、通学班登校に向けて、再開前に学校まで歩く練習をしてくださったり、一緒に歩いていただけたりする1年生の保護者の方々や、低学年をまとめて登校できるように準備してくれた高学年の子と保護者の皆様のおかげです。本当にありがとうございます。



さらに、豊坂学区には見守り隊や駐在官さん、交通指導員さんなどの地域の皆様にも、たくさんご支援をいただいていることを本当にありがたく思います。

今週ははじめ学校再開にあたり、朝、テレビ放送にて「新しい豊坂っ子生活」の話をしました。内容は、下記のとおりです。

おはようございます。今日は、令和2年度2日目、49日(幸田中学区)・50日(南部中学区)ぶりの学校です。長い休校でしたが、今日、みなさんが学校に来てくれたこと、みなさんの笑顔を見られたことを本当にうれしく思います。

学校が再開し、久しぶりに友だちや先生に会えて、とてもうれしいですね。

今まで豊坂小のみんなは、友だちと手をつないで遊んだり、集まっておしゃべりを楽しんだりしていました。でも今日からは、新型コロナウイルス予防のために、「新しい豊坂っ子生活」を始めます。自分のため・みんなのために、合言葉は、「今、みんなで3つの密(密閉・密集・密接)を避ける」。豊坂小のみんなは仲よしで「心はちかく」ですが、今は、友だちとくっつかずに間をあける「心はちかく、間をあける」ように過ごしましょう。



では、どのくらい間をあけたらよいかというと、手を伸ばしたときに友だちにふれないくらいの距離の間をあけましょう。これは、どんなときも、前も後ろもです。それから、マスク、手洗い、その後にハンカチでふき、消毒です。「新しい豊坂っ子生活」の一日の流れについて、担任の先生から話があります。よく聞いて取り組みましょう。



そこで、今月のことわざは「石橋をたたいて渡る」とします。石でできた頑丈な橋でも叩いて安全を確かめて渡るように、「友だちとの間をあけ、手洗い、消毒」をみんなで慎重に取り組み、安全な学校生活を送りましょう。そして、学校中のみんなが元気で過ごし、「本気がいっぱい」の豊坂小学校にしましょう。

新しい豊坂っ子生活の一場面

1年生：小学校生活（げた箱・手洗い・机の中）を身につけます



朝の時間：教室で落ち着いて過ごします



栽培活動：活動は縮小しても続きます



《すてき発見》

その1

朝、横断歩道に立っている時に聞く「おはようございます」の声は、今までと変わらない元気な声です。そして、この上級生の声に合わせて、1年生も明るくあいさつができています。新型コロナウイルスに負けない明るいあいさつは、周囲のみんなに元気を与えてくれます。素敵です。

その2

本年度は、例年以上に低学年が多い通学班がいくつかあります。登下校時に、班長さんに「ご苦労さま、大変だよ」と声をかけると、笑顔と共に「大丈夫です。1年生の子が話を聞いてくれます」という返事、素敵な高学年と通学班の仲間たちです。

一斉下校：班ごとにきちんと整列します

